

中央大学文学部

2019年度 特別公開講座

2019年7月13日(土) 多摩キャンパス3号館

～ 参加者の皆様へ ～

- ・ 特別公開講座は全て途中の入退室が可能です。各自のスケジュールに合わせて、興味のある講義、ツアーにご参加ください。
- ・ 昼食時間は特に設けておりませんので、好きな時間帯におとりください。昼食は持参いただいても本学学生食堂をご利用いただいてもどちらでも大丈夫です。なお、2時限目と3時限目の間は65分の休憩時間を設けています。
- ・ 上記時間(12時05分から12時50分まで)に、「昼どき文学部～スチューデント・ラウンジ～」を開催します。在学生在が各専攻を紹介しますので、先輩学生から見た文学部、専攻の良さなどを聞くチャンスです。昼食をとりながら参加することもできますので、お気軽にご参加ください。
- ・ 13専攻の共同研究室では、1日限りの「共同研究室ツアー」を実施します。この機会に文学部生の憩いの場を体感してみてください。
- ・ アンケートを配布しますので、講義の感想、ご意見などをお寄せください。お帰りの際にスタッフに提出してください。
- ・ 休憩室として下記の教室をご利用いただけます。
保護者の方:3154 教室 高校の先生方:3153 教室 高校生(お昼休憩):3160 教室



INFORMATION



トイレは各階廊下のつきあたりにあります。



分からないことはネームホルダー着用のスタッフにお尋ねください。



気分が悪くなった方は、保健センター(2号館1階)でお休みいただけます。

＜プログラム＞

全体説明会					
時間・対象		内容		会場	
9:30~10:00 対象:中大附属4 高校参加者、 他高校参加者		【全体説明】ご挨拶、文学部紹介、資料配布		3114 (附属、杉並)	
				3115 (中大高、横浜、他高校)	
模擬授業					共同研究室 ツアー
時限・時間	専攻名	講義タイトル	講師名	会場	
1 時限目 10:15 } 11:00	ドイツ語 文学文化	語学と言語学はどう違う？	林 明子	3353	
	社会情報学	なぜ、わざわざ「遠征」するの？ : 趣味をめぐる行動を社会情報学から考えた	松田 美佐	3114	
	教育学	<若者>の見られ方・語られ方	高木 雅史	3115	
2 時限目 11:10 } 11:55	国文学	日本のフィクション作品にみる恋愛像 —小説・映画・テレビドラマを通じて—	宇佐美 毅	3115	
	西洋史学	女神と英雄の恋の物語	唐橋 文	3353	
	【講演】	「文学部生のキャリア設計」(保護者対象)	キャリアセンター	3114	
12:05 } 12:50	屋どき文学部 スチューデント・ラウンジ partA	国文学／英語文学文化／ドイツ語文学文化／ フランス語文学文化／中国言語文化／日本史学／ 東洋史学		3351	
	屋どき文学部 スチューデント・ラウンジ partB	西洋史学／哲学／社会学／ 社会情報学(情報コミュニケーションコース、図書館情報学コース)／ 教育学／心理学		3354	
3 時限目 13:00 } 13:45	英語文学文化	マイケル・ジャクソンとアメリカ音楽と	中尾 秀博	3115	
	哲学	自由な思考実験の場としての哲学	土橋 茂樹	3114	
4 時限目 14:00 } 14:45	中国言語文化	ノーベル文学賞とアジア、日本、中国	飯塚 容	3353	
	日本史学	明治維新と天皇の代替わり	宮間 純一	3354	
	社会学	人びとの活動のグローバル化	野宮 大志郎	3114	
5 時限目 15:00 } 15:45	フランス語 文学文化	大学で学ぶ美術史、美術館 —ルーヴル美術館で絵画作品を観ること	泉 美知子	3353	
	東洋史学	「中国のルネサンス」と宮沢賢治と中華まん —東洋史学誕生記—	阿部 幸信	3354	
	心理学	自分は正しい？	緑川 晶	3115	

各共同研究室で「共同研究室ツアー」を開催します。

* ツアーの開催時間、集合場所、内容は、本冊子の10,11ページをご覧ください。

* 10時30分～14時30分は、各共同研究室を開放していますので、自由に入室・見学いただけます。

文学部には、学問の世界へと通じる13の扉があります。

この「特別公開講座」では、出席した皆さんのためにこれらの扉を特別に開け放ちます。

ご案内役は、各専攻から選ばれた極上のガイドが務めます。

どうぞお好みのドアからお入りください。



< 模擬授業講義一覧 >

1 時 限 目

語学と言語学はどう違う？

ドイツ語文学文化専攻 教授 林 明子

みなさんは「言語学」と聞いて何を連想しますか。「語学」とは何が違うのでしょうか。授業では、ドイツ語文学文化専攻の学びの柱の一つである言語学分野を取り上げ、方法論の根底にある「観察・分析・仮説・検証」というプロセスを体験します。実際にドイツ語、英語、日本語のデータを用いて作業し意見交換をするなど、全員で作りに上げる授業形態です。言語の観察・分析を通して、ことばの持つ魅力を感じていただければと思います。

■講師プロフィール

異なる言語間の対照や言語教育への応用も視野に、テキスト言語学、談話分析、語用論の分野での研究・教育に従事しています。

■お薦めの3冊

加藤 重広『ことばの科学』（ひつじ書房）、2007年。

下宮 忠雄『ドイツ語とその周辺』（近代文芸社新書）、2003年。

瀬戸 賢一『日本語のレトリック：文章表現の技法』（岩波ジュニア新書）、2002年。

なぜ、わざわざ「遠征」するの？

：趣味をめぐる行動を社会情報学から考えた

社会情報学専攻 教授 松田 美佐

最近増えている「遠征」って知ってますか？部活の試合ではありません。コンサートやスポーツ、舞台などに観客として参加するために、遠方まで出かけることを指す言葉です。

なぜ、近場でも見られるエンターテインメントをわざわざ交通費や宿泊費をかけてまで見に行くのでしょうか。講師自身がミュージカルにハマって「遠征」するようになり、抱いた疑問に、社会情報学的にアプローチした成果を、その研究過程とともに紹介します。

「そんなこと研究して何になるの？」などと言わず、身近な現象から社会を考える社会情報学を一緒に楽しみましょう。

■講師プロフィール

うわさやケータイ・スマホといったパーソナルなコミュニケーションに関心があります。大学生と高校生の母(子育てが一段落したから、ハマっちゃったかなあ...)

■お薦めの3冊

ルース・シュウォーツ コーワン『お母さんは忙しくなるばかり』(法政大学出版局)、2010年。

道田 泰司・宮元 博章『クリティカル進化論』(北大路書房)、1999年。

ロバート・D・パットナム『われらの子ども』(創元社)、2017年。

〈若者〉の見られ方・語られ方

教育学専攻 教授 高木 雅史

「現代の〈若者〉を表すキーワード(またはキャッチフレーズ)」を問われたら、あなたはなんと答えますか？この問いを切り口にして、〈若者〉の自己認識(同世代認識)の特徴について検討してみます。そして視点を〈若者〉から〈子ども〉全体に広げて、社会がもつ〈子ども〉へのまなざしの変化、今日における〈大人〉と〈子ども〉の区分の揺らぎについて考えます。

■講師プロフィール

日本の教育の特徴について、歴史的視点から研究しています。特に、産み育てる子どもの数を意図的に調整する「家族計画」という考え方が、いつ、どのように広まったのかに関心を持っています。

■お薦めの3冊

広田 照幸『日本人のしつけは衰退したか』(講談社現代新書)、1999年。

滝川 一廣『学校へ行く意味・休む意味』(日本図書センター)、2012年。

木村 元『学校の戦後史』(岩波新書)、2015年。

2時限目

日本のフィクション作品に見る恋愛像

—小説・映画・テレビドラマを通じて—

国文学専攻 教授 宇佐美 毅

小説を読んだり映画を見たりしても、目に見える「得」はないのに、人間は何千年も前から神話や演劇などフィクション性のある世界を大切にしてきました。それはフィクションだからこそその真実も存在するからです。この講義では、村上春樹の小説、新海誠『君の名は』、近年のテレビドラマなどを取り上げ、恋愛のような普遍的・不変的と思えるものにも時代によって変化があり、それをフィクションがいかにか描いているかを考察します。

■講師プロフィール

村上春樹を中心とした日本現代文学研究者。近年は、映画・テレビドラマ・アニメなどを総合的に考察する現代文化論へと研究範囲を広げている。

■お薦めの3冊

安藤 宏『「私」をつくる近代小説の試み』(岩波新書)、2015年。

千野 帽子『人はなぜ物語を求めるのか』(ちくまプリマー新書)、2017年。

藤谷 治『小説は君のためにある:よくわかる文学案内』(ちくまプリマー新書)、2018年。

女神と英雄の恋の物語

西洋史学専攻 教授 唐橋 文

この授業では、女神が人間の美しい英雄に恋をするという物語のモチーフに焦点を当てます。まず、古代メソポタミアの『ギルガメシュ叙事詩』で語られたイシュタル女神とギルガメシュのエピソード、次に、古代ギリシアの神話・叙事詩の中から、アプロディテ女神がトロイアの勇将アンキセスに恋するエピソードを概観します。そして、女神と英雄の恋を巡るこの二つの物語を読み比べて、類似点と相違点をあげながら、古代の東西文化の交流について考察します。

■講師プロフィール

シュメール語やアッカド語の文書を読むことを仕事にしています。

■お薦めの3冊

月本 昭男(監修)『メソポタミア文明の光芒』(山川出版社)、2011年。

中田 一郎『メソポタミア文明入門』(岩波ジュニア新書)、2007年。

前川 和也(編著)『図説メソポタミア文明』(河出書房新社)、2011年。

3時限目

マイケル・ジャクソンとアメリカ音楽と

英語文学文化専攻 教授 中尾 秀博

「キング・オブ・ポップ」と呼ばれたマイケル・ジャクソンの音楽の特徴について、アメリカ音楽の起源、さらには音楽の起源にさかのぼって、考えてみましょう。

その過程で、音楽という視点から「アメリカ」と「アメリカ人」について考えることにもなるでしょう。できるだけ画像や音源や動画を活用した講義にするつもりです。

■講師プロフィール

【専門分野】 地域研究／環太平洋文学・文化／ポップ・カルチャー

【研究テーマ】 ポスト・コロニアルとナショナリズム／先住民の映像表象

【論文・著書・口頭発表】 については以下のサイトを参照

<http://ir.c.chuo-u.ac.jp/researcher/profile/00016887.html>

■お薦めの3冊

中村 とうよう『ポピュラー音楽の世紀』（岩波新書）、1999年。

ピーター・バラカン『ロックの英詞を読む』（集英社インターナショナル）、2003年。

三井 徹『マイケル・ジャクソン現象』（新潮文庫）、1985年。

自由な思考実験の場としての哲学

哲学専攻 教授 土橋 茂樹

地球のまわりを太陽がまわっているとか、女性は政治に参加できないとか思われていた時代があったことを思えば、現在でも、人々が当然だと思っていることが必ずしもすべて本当だとは限りません。そこで、自分の頭の中だけで、「もし、本当はそうじゃないとしたら、一体どうなるのか」と想像してみたいかがでしょうか。ひょっとするとものの見方や考え方が変わるかもしれません。実はそれが哲学的に物事を考えることの始まりなのです。

■講師プロフィール

大学で哲学とか倫理学とか宗教の話をしています。

■お薦めの3冊

ルネ・デカルト『省察』（筑摩書房）、2006年。

ヘルマン・ヘッセ『荒野の狼』（新潮社）、1971年。

ヤンネ・テラー『人生なんて無意味だ』（幻冬舎）、2011年。

4時限目

ノーベル文学賞とアジア、日本、中国

中国言語文化専攻 教授 飯塚 容

ノーベル文学賞は1901年の創設以来、主として欧米の作家に与えられてきました。アジア、アフリカ、ラテンアメリカの作家にも広く門戸が開かれたのは1980年代以降のことです。川端康成がアジア人受賞のさきがけとなり、大江健三郎がこれに続きました。この講座では、ノーベル文学賞の歴史を振り返ったあと、中国文学の分野で2000年以降に受賞した二人の作家(高行健、莫言)、そして次の受賞が期待されている二人の作家(余華、閻連科)について紹介します。

■講師プロフィール

東京都立大学大学院修了。専門は中国現代文学、演劇。

中央大学文学部専任講師、助教授を経て1996年より教授。

2015年から4年間、中央大学杉並高校校長をつとめた。中国現代作家の作品を多数翻訳している。

■お薦めの3冊

吉田 富夫『莫言神髄』(中央公論新社)、2013年。

飯塚 容(著訳)、高 行健、余 華、閻 連科(著)『作家たちの愚かしくも愛すべき中国—なぜ、彼らは世界に発信するのか?』(中央公論新社)、2018年。

橋本 陽介『ノーベル文学賞を読む—ガルシア=マルケスからカズオ・イシグロまで』(角川選書)、2018年

明治維新と天皇の代替わり

日本史学専攻 准教授 宮間 純一

現在の天皇をめぐる儀礼の多くは、近代国家が成立・展開する過程で整備されたものである。あたかも古代王朝以来の〈伝統〉を引き継いでいるかにみえる儀礼は、明治期以降に創り出されたものであった。本講座では、明治の代替わりの歴史的意義を当時の政治・社会状況との関係を踏まえながら考えたい。

■講師プロフィール

中央大学文学部准教授・博士(史学)

1982年千葉県千葉市生まれ

専門:日本近代史、アーカイブズ学

主な著書:『国葬の成立-明治国家と「功臣」の死』(勉誠出版)、2015年。

『戊辰内乱期の社会—佐幕と勤王のあいだ—』(思文閣出版)、2015年。

『天皇陵と近代-地域の中の天孫皇子伝説-』(平凡社)、2018年。

■お薦めの3冊

E. H. カー(著)、清水 幾太郎(訳)『歴史とは何か』(岩波書店)、1962年。

松尾 正人『廃藩置県-近代統一国家への苦悶-』(中央公論社)、1986年。

藤田 覚『幕末の天皇』(講談社)、1994年。

人びとの活動のグローバル化

社会学専攻 教授 野宮 大志郎

今日の世界には、一部の裕福な国と多くの貧しい国が存在する。同じ人間なのに、生まれ落ちたところが異なるだけで、生活が大きく異なってしまうこと自体、おかしい。貧しい人にはよりよい生活を提供したい。でも、たとえばアフリカなど遠くに住む人たちに対して、私たちに何かできることがあるのだろうか。この授業では、その可能性や実際の活動を見ていきます。

■講師プロフィール

社会学博士(米国ノースカロライナ大学チャペルヒル校)

専門領域: グローバリゼーション論、
市民社会論、社会運動論、集合的記憶

■お薦めの3冊

ゼヴァン・カリス・スズキ『あなたが世界を変える日—12歳の少女が環境サミットで語った伝説のスピーチ』(学陽書房)、2003年。

長友 淳『グローバル化時代の文化・社会を学ぶ—文化人類学/社会学の新しい基礎教養』(世界思想社)、2017年。

野宮 大志郎、西城 戸誠(編著)『サミット・プロテスト』(新泉社)、2016年。

5時限目

大学で学ぶ美術史、美術館

ルーヴル美術館で絵画作品を観ること

フランス語文学文化専攻 准教授 泉 美知子

みなさんが小学生から高校生まで受けた「美術」の授業はどういうものでしたか？これまで博物館や美術館に行ったことはありますか？

大学で学ぶのは「美術史」という学問で、むしろ「世界史」と関わりがあります。作品をどのように鑑賞すればいいのか、その眼を養うのです。そして私たちは作品を観るために、美術館に足を運びます。美術館は社会や個人の生活とどのように関わっているのでしょうか。大学で学ぶ美術史、美術館について説明します。

■講師プロフィール

革命後のフランスにおける美術、美術館、文化遺産について研究しています。

■お薦めの3冊

高階 秀爾、三浦 篤(編)『西洋美術史ハンドブック』(新書館)、1997年。

※大学の教科書として使っています。

小池 寿子『一日で鑑賞するルーヴル美術館』(とんぼの本、新潮社)、2006年。

※この本でルーヴル美術館を訪れてみましょう。

谷口 ジロー『千年の翼、百年の夢』(ビックコミックススペシャル、小学館)、2015年。

※ルーヴル美術館を舞台にしたマンガです。

「中国のルネサンス」と宮沢賢治と中華まん

—東洋史学誕生記—

東洋史学専攻 教授 阿部 幸信

宮沢賢治の童話集『注文の多い料理店』に収められた「山男の四月」（1922）と、新宿中村屋が日本ではじめて発売した中華まん「天下一品支那饅頭」（1927）。一見何の関係もなさそうですが、実はこの2つから、1920年代における日本とアジアの関係を読みとることができます。それを手がかりにして、みなさんもかならず知っている中国史のある有名な学説の、さらに裏側にひそむ意味を「解説」していきます。限られた時間の中で、「東洋史学とは何か」「歴史学を学ぶ意味」「歴史研究の多様性」について一度に感じていただこうという、ちょっと欲ばりな企画です。

■講師プロフィール

1972年国立市生まれ。都立調布北高校卒。博士(文学)(東京大学)

専門は中国史(漢～宋代の制度・思想・政治・社会、三国時代の社会・経済など)と「動物像」の世界史

■お薦めの3冊

菊池 章太『フランス東洋学ことはじめ—ボスフォラスのかなたへ』(研文出版)、2007年。

原 宗子『環境から解く古代中国』(大修館書店)、2009年。

関 幸彦『「国史」の誕生 ミカドの国の歴史学』(講談社学術文庫)、2014年。

自分は正しい？

心理学専攻 教授 緑川 晶

私も高校生の頃は、自分の認識に自信を持っていましたし、自分のことは自分が一番よく知っていると思っていました。しかし心理学を学び、臨床の現場で様々な患者さんに出会うことで、自分を含めて人は思っているほど正確に物事や自分自身を理解している訳ではないことを実感するようになってきました。講義では実験などを通じて、そのような自分たちの認識の正しさについて一緒に考えてみたいと思います。

■講師プロフィール

専門は神経心理学。

普段は事故や病気で脳に障害がある患者さんを対象にした研究や臨床的な活動を行なっています。

■お薦めの3冊

池谷 祐二『脳には妙なクセがある』(新潮社)、2018年。

ラマチャンドラン『脳の中の幽霊』(角川書店)、2011年。

下條 伸輔『サブリミナルマインド』(中央公論社)、1996年。

「昼どき文学部」の楽しみかた

「昼どき文学部 ～スチューデント・ラウンジ～」が開かれている間、教室はラウンジになります。全専攻の(皆さんの先輩になるかもしれない)文学部生が登場して、個性豊かに学生目線で専攻を紹介します。お弁当を食べながら、冷たい飲み物で乾いたのどを潤しながら、気軽に聞いてください。そして、わからないことはどんどん質問してください。そんな自由さが、文学部の雰囲気なのです。

12:05～12:50開催

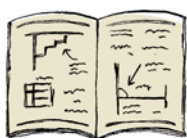
partA	国文学／英語文学文化／ドイツ語文学文化／フランス語文学文化／中国言語文化／日本史学／東洋史学
partB	西洋史学／哲学／社会学／社会情報学(情報コミュニケーションコース、図書館情報学コース)／教育学／心理学



* 2つの会場で実施します。まずは興味のある専攻の会場をのぞいてみてください。
途中入退室も自由ですので、お気軽にお越しください。

旅に出よう。…文学部は応援します

緑豊かな多摩キャンパスだけが文学部のフィールドではありません。東京も、地方も、そして全世界が、学びのためのフィールドです。文学部には長期・短期のさまざまな留学制度、多数の交換留学先があるほか、フィールドワークやボランティア活動を応援する奨学金も用意しています。



学びの場、学びのチャンス

▶ 13専攻の共同研究室…学問、そして仲間との出会いの場

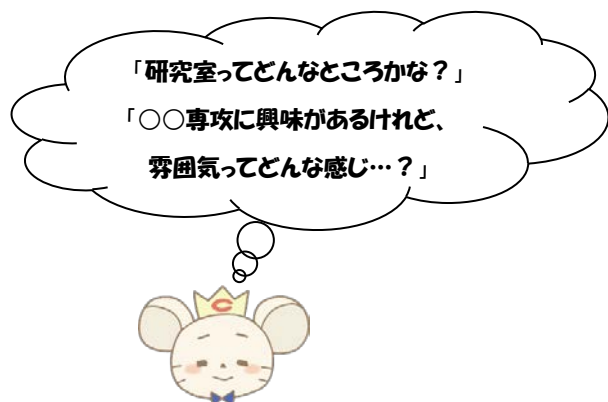
文学部の13専攻には、それぞれ「共同研究室」があります。ここでは資料や文献を読む、レポートを書く、読書会を開くなど、さまざまな学修が展開されています。大学ならではの書物や機材に触れてみてください。教室以上に大学の雰囲気を味わえますよ。

本日10:30～14:30開室(自由見学可、共同研究室ツアー実施)

▶ 使い倒そう！国立美術館・博物館キャンパスメンバーズ

文学部生は、対象となる博物館・美術館の受付で学生証を提示するだけで、無料または割引料金での観覧ができます。使い方は簡単、学生証を見せるだけで常設展は無料！特別展も会期いっぱい割引が適用され、いずれも使用回数は無制限です。古今東西の名作、教科書で見たあの現物が、あなたを待っています。

<共同研究室ツアー>



～リアルな専攻の雰囲気を感じてみよう!～

ふだん文学部生が資料収集などに活用している各専攻の「共同研究室」をご案内します。

共同研究室ツアーに参加して、専攻の魅力に直接触れてみませんか? 本日だけの特別メニューもご用意しています。

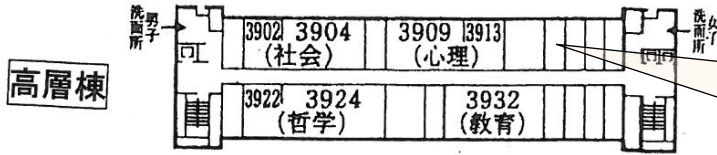
専攻	時間・集合場所	メニュー
国文学	①10:30-11:00 ②13:00-13:30 3号館7階 3702	ようこそ「寺子屋こくぶん」へ。 読み書き、そろばん、ものづくり…地口遊びに判じ絵、和算。 昔の子どもの遊びを通して、国文学の世界をのぞいてみましょう。
英語文学文化	①11:00-11:30 ②13:50-14:20 3号館5階 3535	中学校からずっと英語を学んできたはず…。でも大学では、一味違う英語を通じた「学び」ができます。あなたは英語を使って何をしたいですか? 経験豊かな先生、学部生が、お茶を用意して皆さんとお話することを楽しみにお待ちしております!
ドイツ語文学文化	10:30-14:30 3号館5階 3503	自由に見学いただけます。また、随時在学生及び教職員が質問に応じたり、お話をいたします。例えばこんなお話です。 ・本専攻で取得できるドイツ語の資格 ・本専攻の学生たちの留学方法 ・本専攻のクリスマスパーティーや課外授業
フランス語文学文化	13:00-14:00 3号館5階 3523	フランス語を学ぶ専攻の学生とお話ししてみませんか。 専攻で学べる内容のほか、留学体験や日々のキャンパス・ライフについていろいろ聞いてみてください。
中国言語文化	10:30-14:30 3号館5階 3513	中国のパズルやトランプで遊んだことはありますか?簡単に遊べるものから、ちょっと頭を使うものまで各種取り揃え、みなさんをお待ちしています。専攻の先輩が相手をしてくれますので、1人で来ても遊べます。もちろんグループでもOK!
日本史学	①13:00-13:30 ②14:00-14:30 3号館7階 3713	日本史研究は、昔の人が書いた文書や遺跡から出土した土器などに直接触れる学問です。研究室でその一端にふれてください。なお、一回目は古文書の読み方を、二回目は考古資料の見方を中心に説明します。

専攻	時間・集合場所	メニュー
東洋史学	10:30-14:30 3号館7階 3735	ふだんなじみのないアラビア文字で自分の名前を書いてみませんか？アラビア語ってどんな言葉？そう思ったらぜひ！またトルココーヒーは日本で飲むコーヒーとは全く違う濃厚さ。はるか中東の雰囲気を感じるとともに味わってみてください。
西洋史学	13:30-14:30 3号館7階 3723	大学の西洋史の勉強はどんなものでしょうか！ 勉強や学生生活、サークル活動などについても、先輩に話を聞いてみましょう（今年の先輩は海外に留学した人です）。気軽に研究室をたずねてみてください。
哲学	10:30-14:30 3号館9階 3922	「哲学カフェ」で、お菓子をつまみながら、のんびりフリートーク。哲学ってなんだろう。なんだかむずかしそう？ いやいや、肩ひじはらず、そんなに構えずにお話ししてみましょう。
社会学	①11:10-11:40 ②13:15-13:45 3号館9階 3902	社会学は変幻自在な学問です。「何でもアリ」の社会学の魅力と面白さについて、ざっくばらんにお話をします。きっと世界が鮮やかに見えてきますよ。
社会情報学	①11:15-11:45 ②14:00-14:30 3号館4階 3421	社会情報学ってどんな学問でしょうか。お菓子をつまみながら気軽に聞いてみましょう。クイズ「資料探し・データ探し」にも挑戦できますよ。また、教員お薦めのDVDや資料もご紹介します。
教育学	①11:20-11:50 ②13:15-13:45 3号館9階 3932	教育学専攻ってどんなところ？ 先生や先輩たちがみなさんの質問になんでもお答えします。 気軽におこしてください。
心理学	①10:30-11:30 ②13:00-14:00 3号館9階 3909	簡単な心理学の実験を体験してみましょう！ 「人ってすごい」って思えるかもしれません。 (錯視の実験、逆さめがね体験、心理検査の図版紹介 etc.)

※上記のツアー実施時間以外も 10:30~14:30 の間は共同研究室を開放しておりますので、自由にご見学ください。

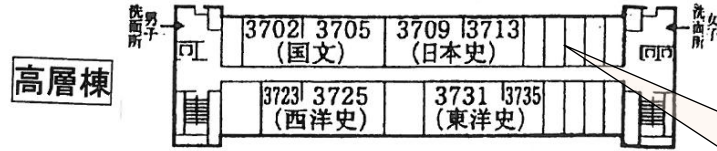
※14:30 終了を目途としていますが、模擬授業の時間帯、来場状況により、開室時間を延長するケースもあります。また、内容に変更がある場合もございますので、あらかじめご了承ください。

3号館9階



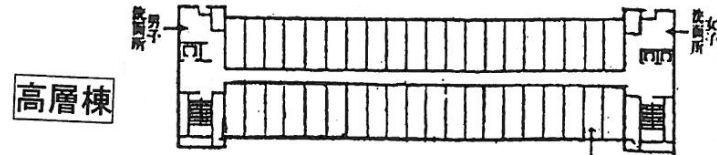
共同研究室ツアー (9階)
 哲学(3922)
 社会学(3902)
 教育学(3932)
 心理学(3909)

3号館7階



共同研究室ツアー (7階)
 国文学(3702)
 日本史学(3713)
 東洋史学(3735)
 西洋史学(3723)

3号館6階



高層棟

高層棟

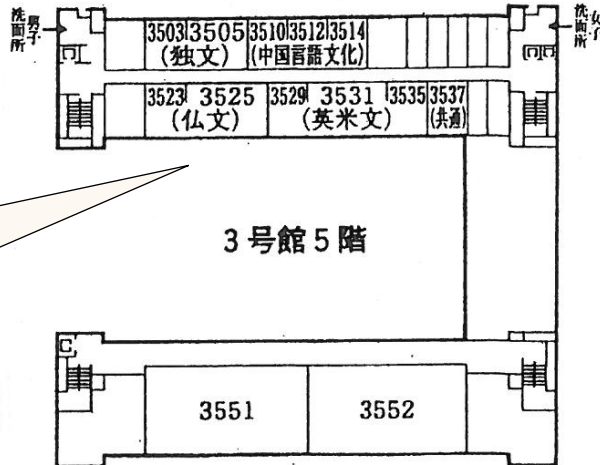
中層棟

高層棟

中層棟

モノレール駅側

3号館5階



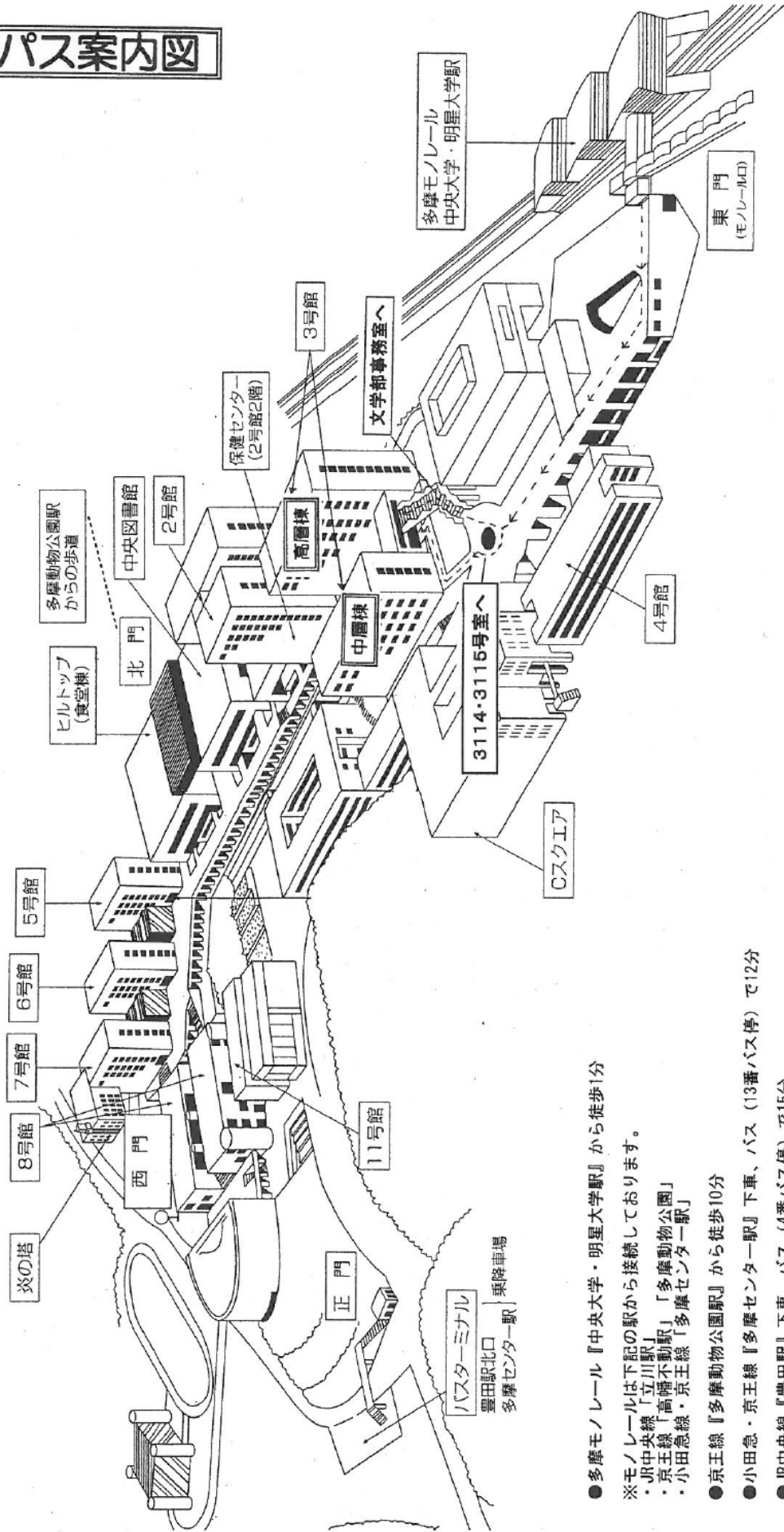
共同研究室ツアー (5階)
 英語文学文化(3535)
 ドイツ語文学文化(3503)
 フランス語文学文化(3523)
 中国言語文化(3513)

共同研究室ツアー (4階)
 社会情報学(3421)

第2パソコン教室

第1パソコン教室

キャンパス案内図



●多摩モノレール『中央大学・明星大学駅』から徒歩1分

※モノレールは下記の駅から接続しております。

- ・JR中央線「立川駅」
- ・京王線「高幡不動駅」「多摩動物公園」
- ・小田急線・京王線「多摩センター駅」

●京王線『多摩動物公園駅』から徒歩10分

●小田急・京王線『多摩センター駅』下車、バス（13番バス停）で12分

●JR中央線『豊田駅』下車、バス（4番バス停）で15分

~ Memo

